

2019年4月25日
商 工 中 金

医療向けに全自動無菌細胞分離装置を開発する 三井電気精機株式会社を金融面からサポート！

商工中金は、新たな事業分野や収益化に時間を要する分野に取り組む中小企業の皆さまを、関係機関や地域金融機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（松戸支店）は、三井電気精機株式会社（本社：千葉県野田市、代表者：早川 一成氏）に対し、医療機器の製造・販売事業への新規参入などに必要な資金3千万円を融資しました（内、2千万円は千葉県信用保証協会を利用しています）。

三井電気精機株式会社は、理化学製品の製造開発を行う事業者です。液体と金属を均一に混ぜ合わせる超音波ホモジナイザーや基盤上に均一な塗工を施す卓上コーターなど、研究開発に必要不可欠な試験機や測定器の製造開発を強みとしています。

今回、同社は、全自動にて血液や体液を複数の成分に分離・回収することができる無菌細胞分離装置の開発に成功しました。人手を介さないため、クリーンルームなど高価な設備が不要となり、医療分野等での活用が見込まれ、中国など海外市場への販売を強化していくことで、一層の経営安定を図っていきます。

商工中金は、同社の取組みが、国内外の医療分野の発展に貢献するものと評価し、医療機器の製造・販売事業への新規参入などに必要となる資金を融資しました。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、中小企業の企業価値向上に貢献してまいります。

【三井電気精機株式会社の概要】

所在地	千葉県野田市西三ヶ尾 233-10 (野田工業団地内)	資本金	1,000万円
代表者	早川 一成	従業員数	16名(2019年3月現在)
業種	理化学機器・塗工機器・電動機器・実験研究開発機器の製造	設立	1967年2月